

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103797
法人名	医療法人 博愛会
事業所名	グループホームしらさぎの里
所在地	愛媛県松山市祓川1丁目2-28
自己評価作成日	平成21年8月3日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年8月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

グループホームにおいても十分に認知症は診断を確定して医療的な対応ができること。ひとりひとりの気持ちに触れ合えるよう、またしあわせなひとときをより多くつくりだせるよう職員同士が仲よく努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

1階の事務所に新聞を取りに行かれたり、ご家族と散歩に出かける方もいる。屋上で野菜や花を育てておられ、お世話に行かれることもある。
 利用者がお一人でも買い物ができるように、隣接のコンビニの協力をお願いされている。社協の「おせたい通信」でボランティアを募集され、大学生が利用者の話し相手や食事介助に来てくださった。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 医療法人 博愛会

(ユニット名) グループホーム しらさぎの里

記入者(管理者)

氏名 一 広 道 子

評価完了日

平成21年8月3日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 社会との交流 幼稚園及び付属する老人保健施設しらさぎ苑デイケア・地域のボランティア活動の方々の協力を得て、管理者と職員はその交流を理念としてプログラムを組み実行している。	
			(外部評価) 管理者は、「自分らしく」という理念を「社会との交流の中での実践」と捉えて考えておられ、「地域の方々にホームに来てもらえるよう」働きかけていきたいと話しておられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) お買物訓練として地域のスーパーに協力を求め、認知症の人がお買物がひとりで出来るという方法をとっている。(1000円でアンパンを10個買ったとしたらレジの方が「2個でいいでしょ。他のものはいいませんか」会話が生まれる。アイスクリームを2個買い 1000円でおつりをもらう という主婦の時代を思い出すという成功例がある。もちろん職員も付いている) お誕生会/月に幼稚園児が慰問してくれる。	
			(外部評価) 利用者がお一人でも買い物ができるように、隣接のコンビニの協力をお願いされている。社協の「おせったい通信」でボランティアを募集され、大学生が利用者の話し相手や食事介助に来てくださった。 事業所では、今後、「近くの小学校の運動会に出かけたり」又、「地域で行われているいきいきサロンを事業所内で行ってもらえないか」地域の方々と相談することも検討されていた。地域との関係作りから、利用者が地域のいろいろな方達とふれ合える機会を作っていかれてほしい。又、地域のグループホームの集まり等へ積極的に参加され、情報交換をされてはどうだろうか。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 地域の人々に認知症とはをどのようなものか理解をお願いしたいと考え、地域のサロンに受け入れてもらいましたが、なかなかうまくいかず不成功 今後検討していきたい	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議 提案事項として地域の人とどのような係わりがあるか。ボランティアの受入で利用者と併設のデイケアに参加(作業療法として折紙・カレンダー作りなど)楽しむ。いきいきサロンにたいしては今後の課題。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議時、参加者からの認知症についての質問には、医師である理事長が説明をされている。利用者の近況報告や週間スケジュール、防火管理、抑制帯使用について、感染症対策、事故予防について等、事業所の抱えている課題等についても話し合っておられる。</p>	<p>さらに、地域からの会議参加者を増やし、地域の多くの方に事業所の役割や活動等を知っていただき、ホームや認知症の理解をさらに広げていかれてほしい。又、外部者からのご意見を事業所のケアの質向上への取り組みにつなげていかれてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 協力関係については不十分である。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議時、市担当者から防火管理について教えていただいたり、地域包括支援センターからは、地域のGH連絡会の案内をいただいている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 建物の構造上、できております。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所は5階建ての4階部分に位置し、出入りはエレベーターで行うようになっている。現在、出入り時には職員がボタンを操作するようになっている。又、現在、車いす使用時に利用者の体がずれ落ちることを防止するため、抑制帯で止めている方もある。</p>	<p>管理者は、エレベーターの鍵をはずすことができるよう、施設長と話し合いを行っていきたくておられた。この機会に、利用者の安全を十分に守りながら、個々が自由に暮らすことができるよう、「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を踏まえて、日々の支援について話し合われてみてはどうか。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待はいっさいしておりません。全身状態は入浴のときに確認しており、職員内の虐待及び言葉の虐待も見受けられません。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 成年後見制度についての理解を深めるような話し合いは行っている。日常生活自立支援事業については今のところ十分に活用ができていない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に十分な説明を、具体的に説明し、変更時にもその都度説明をしている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ほとんどの利用者の家族がたびたび面会に来られるので、その際に意見交換をしている。 (外部評価) できるだけ口から食事が続けられるようご家族と話し合い、協力をいただきながら支援されている。調査訪問時、ご家族が食事の介助にいられていた。ご家族の来訪は頻繁にあり、ご本人の様子を伝えて意見をうかがっておられる。	(外部評価) ご家族から、「ホーム便りを再開してほしい」というような意見をいただいた。又、事業所でも「家族会を行いたい」と考えておられ、さらに、利用する立場からの意見を出してもらえるような機会作りが期待される。出された意見ををきっかけにして、事業所のさらなるケアの質向上につなげていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	各セクション、リーダーが運営ミーティングをしており、全セクションの意見や提案を反映させている。 2ヶ月ごとの職員ミーティング時に、事業所の行事等の意見を出し合い、決めるようになっている。	
			(外部評価)		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	就業規則にのっとりお互いに遵守している。また労働基準法も守っている。	
			(外部評価)		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	今後の課題である。	
			(外部評価)		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	同一法人内のグループホームでは、交流意見交換は出来ているが、他のグループホームとはできていない。	
			(外部評価)		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	事前面接時に本人家族の状況や希望を充分にお聞きして、それを職員間で話し合い、利用者の理解を深めている。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 利用者を受け入れる段階で話し合いが行われている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入所時に専門病院等の受診が必要だと判断した場合は、そのようにアドバイスなどしている。デイサービスの利用等についても支援している。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 日常生活の中で、お掃除や洗濯物たたみを手伝ってもらったりしている。	
19		本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 非常に面会が多いので、利用者に対して家族の意見を汲み上げられる。家族がこられたときは家族さんが利用者をお連れして散歩していただく支援をしたり、家族利用者さんが共に屋上のプランターでお花を育てる支援をしている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 常に職員が変わらないで、馴染みの人間関係を構築していけるが、入所前の馴染みの方との関係を継続支援するのは難しい。	
			(外部評価) お若いころのお友達が、訪問してくれることもある。	ご本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所等を探り、ご本人が「自分らしく」暮らせるような支援につなげていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 二人三人のグループを作りたがる。例えば洗濯物を誰かがし始めるとほかの人もやろうとしたり、職員もそのように促している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 認知症の薬物療法リハビリ療法によって家庭に復帰した場合には、こちらのお誕生会などにお誘いをして関係を続けている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 健常のときの生活のリズムに拘ってその継続をしたい。とそれが本人の希望であればそれを支援できるよう工夫する。また本人の希望を引き出せるような機会を検討。 (外部評価) 職員は、利用者の表情や行動、会話や声のトーン等で思いの把握に努めておられる。	管理者は、「帰りたい」と言われる利用者が「どこに帰りたいのか」「何がしたいのか」を探っていきたいと話しておられた。今後、ご本人の言葉や行動の背景等も探っていけるよう、アセスメントの充実に取り組んでいかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前面接時のアセスメントにて本人家族の状況や希望を充分にお聞きして、それを職員間で話し合い、利用者の理解を深めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) アセスメントを中心にケアプランを立てているが、その時々的心身の状態によって、過ごし方を検討している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一ヶ月に一回は家族会を開き、参加不参加はあるけれども、基本的には出席していただいている、当方に近い家族の方は毎日面会に来ていただいている。そのときには事細かく情報交換ができています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族の来訪時、要望や意見をお聞きして、介護計画を作成されている。</p>	<p>利用者ご本人が、「自分らしく」生活できるような計画の作成に向けて、アセスメントを活かして取り組まれてほしい。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>介護記録にそれぞれの担当職員がその日の様子等書いているので申し送りのときに情報共有ができています。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日常の利用者を患者と見なければいけない場合、多機能の対応をすることがある。毎日来ていた家族が入院等されて来れなくなった時、利用者が不穏になったりするので、他の家族と相談をして、病院に面会にお連れするなど、柔軟に対応している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>?</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 当事業所には法人としての医師が常駐しているが希望があれば任意でかかりつけ医の治療を受けられるよう支援している。</p> <p>(外部評価) 法人の医師とそれぞれのかかりつけ医の往診があり、ご本人の医療面に変化がある時には、ご家族と医師が話し合っている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 当事業所は当法人の訪問看護ステーションと提携しており、医療の必要時には、適切なる医療看護が受けられるよう支援されている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価) 協力病院（NTT西日本松山病院）（平成脳神経外科、リハビリステーション科）がある。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 終末期のありかたについて入所の際に延命の措置やここで終末期を迎えるのか、救急に搬送するのか希望を把握している。</p> <p>(外部評価) 入居時、利用者やご家族に「終末期をどこで迎えるか」「延命措置はどうか」等、意向をお聞きして、意向の変化時等には、その都度話し合い、ご家族が判断できるよう支援されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) そのときの勤務者の救急のレベルが一定ではない。為にすべての緊急時に対応できるわけではない。心配蘇生術、誤嚥による心配停止状態等のときは対応している	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 防火訓練、災害訓練は消防署の指導により行っている。地域の町内会との連携はできていない。 (外部評価) 法人全体で火災時の避難訓練を行われた。	事業所は、ビルの4階部分に位置していることもあり、又、利用者の重度化等も踏まえて、避難訓練の取り組みを重ねていかれることが期待される。事業所独自の避難訓練も予定されており、いろいろな場面を想定される等、全職員で取り組まれてほしい。又、地域の協力も得られるよう、働きかけてみてはどうか。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 気をつけてはいるが満点とは言えない。 (外部評価) プライバシーの保護について、理事長が職員採用の面接時に説明されている。管理者は、利用者に対する言葉かけについて、職員に指導されている。利用者が車いすで出入りがしやすいようにトイレのドアを外し、のれんをかけておられるが、利用者がトイレ使用時のプライバシーへの配慮について、気になるところもある。	トイレや居室の入口の扉の開放等について、利用者の状態等もあるだろうが、この機会に利用者のプライバシーを損ねてはいないか、話し合ってみてはどうか。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) その時々季節や行事の話題をだして本人の希望が表出できるよう図る。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) こころがけとしては、立派な考え方ではあるが、日々の状態にあわせて、臨機応変に対応している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 全身の映る鏡を設置している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 摂取時間を限定しないでご自分の自由な時間をかけて見守りながら食べていただく。	
			(外部評価) 同法人の栄養士が立てた献立をもとに、職員が調理されている。栄養バランスに考慮したメニューを心掛けておられる。現在、利用者の重度化や職員の体制上的こともあり、食事時、職員は利用者の食事介助に徹しておられる。	「食事を楽しむことのできる支援」について職員で話し合い、利用者個々が食事が楽しみなものになるような支援に工夫を重ねていかれてほしい。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) バイタルチェックの中に食事と水分摂取量の記録があります。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎回食後に口腔ケアをしている、就寝前には入れ歯をはずしてポリドントにつけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	9名の排泄パターンにあわせるのは職員体制上難しいので、定時ごとにおむつ交換、トイレ誘導をしている。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	食物から繊維のあるものを必ずだしている。漢方薬の緩下剤を使っている。地に足の着いた歩行訓練をしている。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	就寝前、夕食後に入浴をしていただいて、ぐっすり休んでいただく。週に2~3回で夏はシャワーを使うこともあります。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	夕食後30分後に入浴をしていただいて、ゆっくり休んでいただく。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 努めている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 縫いものの得意な方には繕い物を、行事ごとには飾り物の工作、またプランターの花作りなど。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) スーパーへの買い物など試みている。	
			(外部評価) 1階の事務所に新聞を取りに行かれたり、ご家族と散歩に出かける方もいる。屋上で野菜や花を育てておられ、お世話に行かれることもある。	重度化しても外気に触れたり、社会とつながりを持つような機会を作っていかれてほしい。又、外に出てみたくなるような雰囲気作り等、利用者の意欲を高められるような支援にも積極的に取り組まれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 可能な方に対しては、散歩時などにお買い物を支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族への暑中見舞いを書いてみませんか？と促すと書いてくださった。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 努力しています。	利用者が、24時間365日過ごす場所としての居心地の良さについて、この機会に全職員で話し合われてみてはどうだろうか。利用者の年代や雰囲気、以前の暮らし方、ご本人やご家族の希望等も踏まえて、利用者が住まう場所としての環境作りに取り組みたい。
			(外部評価) 壁に折り紙で作った朝顔や、利用者が布で作った作品が飾られていた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 居場所をご自分で自由に動いていただいて自然に任せている。	
			(外部評価)	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) できているが、整理ができにくいので職員が整理をお手伝いしているが、場合によっては、誤解を招く場合もあるので、必ず一緒にしている。	利用者ご本人のこれまでの暮らし方や好み等もお聞きし、環境作りに取り組みたい。アイデアや工夫で、ご本人の居心地の良い空間作りをすすめてみてはどうだろうか。
			(外部評価) おむつ等の介護用品は、引き出し式の衣類ケースに整理されていた。ご家族の方が来られた際には、居室でおしゃべりされたり、一緒にテレビを見たりされている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 安全に考慮している。	
			(外部評価)	